

第14話 Alexa! 明日の天気, 教えて?

[クラウドAIと会話する②] Amazon Alexaとおしゃべり

GoogleだけでなくAmazonもAIクラウド・サービスを提供しています。Alexa(アレクサ)です。そのうちのAlexa音声認識クラウド・サービス AVS(Alexa Voice Services)をトラ技AIスピーカでつづいてみます。

● 手順① 開発者コンソールにログインする

トラ技AIスピーカとWindowsパソコンをSSH(Secure Shell)で接続します。パソコンからWebブラウザで次のWebサイトにアクセスします。

developer.amazon.com

開発者コンソールにログインして(図1), 右上の「サインイン」か「開発者コンソール」をクリックします。新規に利用する場合は、その前にアカウントを作ってください。

● 手順② 開発を始める

ダッシュボード(メニュー・ページ)からAlexaタブを押すと表れる図2のページで、[Alexa Voice Service]-[始める(Get Started)]をクリックします。[Alexa音声サービスへようこそ]のページが出たら、[開始する]をクリックします。



図1 Amazon開発者コンソールからログインする
初めて利用する場合は、あらかじめアカウントを作っておく

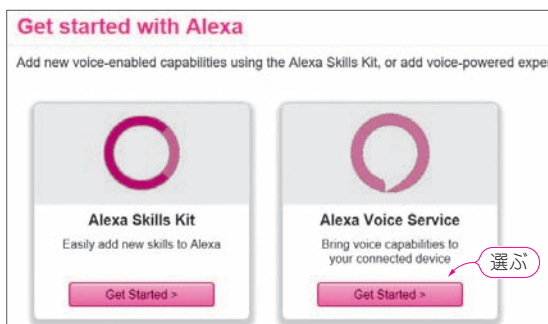


図2 AlexaタブのAlexa Voice Serviceを選ぶ
[始める]をクリックする

● 手順③ 製品情報を入力する

製品情報の記入ページが開くので、表1を参考にして入力してください。製品IDは認証時に使うのでメモしておいてください。

● 手順④ セキュリティ・プロファイルを作る

「プロファイルを新規作成する(CREATE NEW PROFILE)」をクリックすると、図3のページになります。セキュリティ・プロファイル名とセキュリティ・プロファイル記述を記入します。

[次へ]を押すと、図4のページになります。プラットフォームは「ウェブ」を選びます。セキュリティ・プロファイルID、クライアントID、クライアントのシークレットの欄に、付与されたコードが表示されるのでメモします。

大事なのが一番下の「許可された出荷地」(Allowed origins)と「許可された返品URL」(Allowed return URLs)です。次のように入力してください。

- 許可された出荷地 : https://localhost:3000
- 許可された返品URL : https://localhost:3000/auth-response

これを入力しないと、Alexaにアクセスできません。「出荷」や「返品」は、機械翻訳が生成した語句ですが、通販大手のAmazonらしい表現です。

AVSの要件に同意して[完了する]を押すと、図6のページになります。[OK]を押すと図7の一覧表が出ます。

*

以上で登録作業は終わりです。ログアウトします。

● 手順⑤ ラズベリー・パイにAVSをセットアップ
次の3つのプログラムをインストールします。



図3(1) セキュリティ・プロファイル再生画面でプロファイルの新規作成を選び下の2行を入力する

【セミナー案内】 ビギナーのためのトランジスタ回路設計
—— トランジスタの基礎から、エミッタ接地増幅回路まで

【講師】 鈴木 雅臣 氏, 2/25(日) 4,000円(税込み) http://seminar.cqpub.co.jp/